



エイは、おなかに目や口があるの

腹側の目に見えるのは、鼻の穴

水族館などで見るエイは、おなかのほうに、人間の顔のような、目や口がついているように見えます。でも、あの、二つの目のように見えるものは、鼻です。たいていの魚は、目の前方に鼻の穴が開いていますが、サメもエイも、腹側にあります。鼻の穴には、いつも水が流れこんできて、水にとけたにおいを、びん感にとらえて、動きます。

エイは、じつは、サメの仲間に近い魚です。サメの仲間の胸びれが、頭からしっぽの近くまで大きく広がって、つばさのようになったのがエイの体の形になります。

エイは、腹側にえら穴がある

サメもエイも、口は腹側にあります。口から飲みこんだ水が、えらを通して、水中の酸素が体に取りこまれ、残った水は、えら穴から外へ出されます。サメのえら穴は、体のわきに開いていますが、エイのえら穴は、エイの口の近くに、左右に5本のしまのようになって、開いています。

エイの目は、背中側にある

水族館などで、泳いでいるエイを見ると、目は、背中の方についています。

(監修・安部 義孝)

